

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果について<鹿児島県所管分(鹿児島市を除く)>

【小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	柁城小学校	始良市加治木町仮屋町248	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.04,Ctu·Sd=0.49	-	-	H21年度耐震改修済

【病院、診療所】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
2	県立薩南病院	南さつま市加世田高橋1968-4	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	Is/Iso=1.13, Ct·Sd=0.77	-	-	耐震診断の結果、耐震補強不要
3	肝属郡医師会立病院	肝属郡錦江町神川135番地3	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.06,Ctu·Sd=0.66	-	-	H24年度耐震改修済
4	独立行政法人国立病院機構指宿医療センター(病棟)	指宿市十二町4145	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.05,Ctu·Sd=0.36	-	-	H18年度耐震改修済
5	出水郡医師会広域医療センター	阿久根市赤瀬川字池尻4513	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」(2001年版)	Is/Iso=3.21	-	-	耐震診断の結果、耐震補強不要

【ホテル, 旅館】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
6	指宿いわさきホテル (本館A棟)	指宿市十二町 3805番地1	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(充腹材)	Is/Iso=0.20,Ctu·Sd=0.07	耐震補強	令和11年度 着手予定	
7	指宿いわさきホテル (本館C棟・玄関棟)	指宿市十二町 3805番地1	ホテル	-	-			
	本館C棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(充腹材)	Is/Iso=0.39,Ctu·Sd=0.13	耐震補強	令和11年度 着手予定	
	玄関棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(充腹材)	Is/Iso=0.25,Ctu·Sd=0.09	耐震補強	令和11年度 着手予定	
8	指宿いわさきホテル (本館B棟・ジャングル棟他)	指宿市十二町 3805番地1	ホテル	-	-			
	本館B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(充腹材)	Is/Iso=0.64,Ctu·Sd=0.19	耐震補強	令和11年度 着手予定	
	ジャングル棟他			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(2001年版)に定める「第2次診断法」及び「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	Is/Iso=0.12,Ctu·Sd=0.04 (鉄骨造部分Is=0.45,q=1.82)	除却	令和7年度 着手	
9	霧島いわさきホテル (新館)	霧島市牧園町 高千穂3958番地	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(充腹材)	Is/Iso=1.0,Ctu·Sd=0.24	-	-	H10年度 耐震改修済
10	指宿シーサイドホテル	指宿市十町 1912番地	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.26,Ctu·Sd=0.16	耐震補強	令和12年度 着手予定	

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
11	指宿フェニックスホテル	指宿市十二町4320番地	ホテル	-	-			
	1・6号棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.37,Ctu・Sd=0.19	耐震補強	令和10年度着手予定	
	2・5号棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.62,Ctu・Sd=0.32	耐震補強	令和10年度着手予定	
	3号棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.35,Ctu・Sd=0.22	耐震補強	令和10年度着手予定	
12	霧島国際ホテル(本館)	霧島市牧園町高千穂3930番地12	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(2001年版)に定める「第3次診断法」	Is/Iso=0.26,Ctu・Sd=0.12	-	-	R5年度耐震改修済
13	ホテル霧島キャッスル	霧島市牧園町高千穂3878番地	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(非充腹)	Is/Iso=0.84,Ctu・Sd=0.35	耐震改修	検討中	
14	霧島観光ホテル(南館)	霧島市牧園町高千穂3885番地	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.03,Ctu・Sd=0.55	-	-	R元年度耐震改修済
15	指宿白水館(薩摩客殿)	指宿市東方12126番地12	旅館	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.08,Ctu・Sd=0.54	-	-	R元年度耐震改修済
16	指宿白水館(花の棟・磯客殿)	指宿市東方12126番地12	旅館	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.02,Ctu・Sd=0.50	-	-	R元年度耐震改修済

【体育館(一般公共の用に供されるもの)】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
17	垂水中央運動公園体育館	垂水市田神3000	体育館	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.39,Ctu·Sd=0.31	-	-	H29年度耐震改修済

【保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
18	大隅地域振興局本庁舎	鹿屋市打馬二丁目16-6	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	Is/Iso=1.03, Ct·Sd=0.44	-	-	H13年度耐震改修済
19	薩摩川内市役所本庁舎(A棟・B棟)	薩摩川内市神田町3番22号	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.13,Ctu·Sd=0.71	-	-	H25年度耐震改修済
No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
20	指宿市役所	指宿市十町2424番地	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.05,Ctu·Sd=0.65	-	-	H28年度耐震改修済

【百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
21	川内山形屋(旧館・新館)	薩摩川内市西向田町9番6号	百貨店	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.06,Ctu·Sd=0.66	-	-	H30年度耐震改修済

【車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場を構成する建築物で旅客の乗降又は待合の用に供するもの】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
22	鹿児島空港ビルディング (国内線)	霧島市溝辺町 麓822番地	空港	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力上に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。)に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	-	-	H13年度 耐震改修済

耐震診断の方法と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の指標

耐震診断の方法	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」(2001年版)	-	-	$1.0 \leq Is/Is_o$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$Is/Is_o < 0.5$ 又は $Ct \cdot Sd < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_o$ かつ $0.3 \leq Ct \cdot Sd \leq 1.25$
			$1.25 < Ct \cdot Sd$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$Is/Is_o < 0.5$ 又は $Ctu \cdot Sd < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_o$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq Ctu \cdot Sd$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(充腹材)	$Is/Is_o < 0.5$ 又は $Ctu \cdot Sd < 0.125 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_o$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq Ctu \cdot Sd$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(非充腹材)	$Is/Is_o < 0.5$ 又は $Ctu \cdot Sd < 0.14 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_o$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq Ctu \cdot Sd$
建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力上に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。)に限る。)に適合するものであることを確認する方法	-	-	確認できる
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」(平成18年版)	$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$

- I. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- III. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※)震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

(※)備考に記入のない場合は、Z(地域指標)=0.8, Rt(振動特性係数)=1.0, G(地盤指標)=1.0, U(用途指標)=1.0とする。